

戦争したがる政府は要らない！

◆とめよう戦争！めざそうアジアの平和◆

「とめよう戦争への道、めざそうアジアの平和2024春のつどい」が3月30日、エルシアターにて参加者500名で開催された。

私が抵抗すると決めたから

講演1の清末愛沙さんは紛争しているアフガニスタンの状況から話された。世界一の強国が最も貧しい一国に対して攻撃している状況は報道もされない。アフガニスタンの人権と社会正義と平和のために、脅迫にも屈せず原理主義者たちと闘ってきた女性組織RAWA（1977年、自由・独立・社会正義・女性の権利を獲得するために立ち上げた政治団体）と共に「RAWAと連帯する会」の共同代表として今も活躍している。私たちに求められているのは哀れみではなく「声を出す勇気」だ。

日本の役割を果たせ

ウクライナ、GAZAでも集団殺害、いわゆるジェノサイドが繰り返されている。病院、学校、貯水タンク、発電所、教会、人々が避

難する箇所を破壊する行為は国際法違反に関わらず、停戦にもできない無能な国連は国連憲章第1条にある「平和に対する脅威の防止及び除去と侵略行為その他の平和の破壊の鎮圧」を実現すること。日本でも憲法にある「全世界の国民の平和的生存権」に基づき紛争地の「恐怖」と「欠乏」をなくす行動をするべきと訴えた。

戦争への不安「沈黙の壁」

講演2として奄美から城村典文さん（戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット代表）から琉球弧の自衛隊配備は戦争へのカウ



ントダウンが始まったと話された。奄美大島は世界自然遺産候補地で環境調査もしている中、樹海を伐採し駐屯地が建設された。市街地で23時以降もオスプレイが轟音を立て低空飛行訓練している異常な状況だ。島民は「戦争になれば真っ先に狙われる。沖縄戦のように住民を巻き込みながらの戦争など許されるはずはない」と訴えた。

集会終了後、扇町公園までデモをして「戦争の準備を進めるな」「戦争したがる政府は要らない」など声を上げた。

（副委員長 陣内 恒治）



教 宣 部 学 習 会

視点を变えて見よう

3月29日、大阪港湾労働会館第2会議室で教宣部学習会を開催しました。

講師は、月刊ミニコミ誌「新聞うずみ火」代表で、フリージャーナリストである矢野さんの講義に、教宣部員、青年部、執行部合わせて18名参加しました。



第1講義として【読ませる機関紙作りと文章術】です。パワーポイントを使い、例文を交え取材方

法や記事の書き方など説明いただきました。読ませる文章を書くためには、表現力を増やす事、新聞や本を読み使える語彙（言葉）を増やしていく事。臨場感を出す為にも五感をはたらかせ、匂いや手触りなども文章に、そしてなんでも盛り込むのではなく、訴えたい事は一つだけに絞る事が大事であると説明していただきました。

第2講義は【沖縄と西南諸島の実状、中国敵視政策のワナ】でした。矢野さんが直接取材してきた辺野古新基地建設を巡る動き、南西諸島（琉球弧）で加速する自衛隊配備の現状。与那国島、石垣島、宮古島で起きている安保関連3文

書改定からすすむ自衛隊配備、さらに米軍との共同訓練も行われている。今にも戦争が始まるかの状態であると、そして沖縄・琉球弧だけではなく、反撃能力保有を決めた安全保障関連3文書により、全国で火薬庫増設計画が進められている中で初めて決まったケースとして、京都府精華町の祝園分屯地に火薬庫を8棟増設（工事費102億円）する事が決定されたと教えてくれました。

「安倍政権時から防衛費も増加し続けている日本は、中国からすると自国を敵視している国が反撃能力保有を決め、防衛費を倍増させているのは脅威でしかない。軍拡競争ではなく、違う形の外交努力を考えるべきである」と講義が締めくくられました。

（執行部 宮脇 祥三）

万博止めて！ 維新を止めよう！

4月6日（土）18時30分から「万博止めて維新を止めよう！～ヒト・モノ・カネを被災地へ～」集会がPLP会館で開催されました。

主催者あいさつの後、2025年大阪・関西万博の中止を求める運動について、「どないする大阪の未来ネット」事務局運営委員・寺本勉さんより報告がありました。

昨年9月より始めた「大阪万博の中止を求める要請署名」は13万筆以上を集めました。万博協会は受け取りを拒否、経産省近畿経産局へ提出されました。

ヒト・モノ・カネを被災地へ

また、吉村知事は府内の小中高生が約88万人、府外からと未就学児が約14万人を招待するしていますがその費用は14億1千万円もかかるなど説明がありました。



西谷文和（フリージャーナリスト）さんの講演では、維新と安倍・菅政権との癒着、吉本興業とタッグを組み、マスコミ統制、夢洲での万博開催のウラの目的である「カジノ誘致」では、インフラ整備に税金をつぎ込めない。

阪神・オリックスの優勝パレードで万博・IR宣伝に便乗したため、費用が集まらず、大阪広域生コン協組に頭を下げて寄付を頼んだ。MGMリゾートは、カジノが

マネーロンダリングに利用されているのを見て見ぬふりをして、アメリカでは問題になっている話など、西谷さんの軽快なトークで分かりやすかったです。

選挙に行って維新を倒そう！

講演の最後には、維新政治はマスコミを使って世論を誘導し、反対派を排除しようとするなど、イスラエルと似ており、フェイクに騙されず冷静になろう。2度の大阪都構想投票が示しているように、投票率が6割以上になると維新に勝てるので野党共闘を実現し、諦めずに投票に行き、維新を倒そうと終わりました。

他にも夢洲は交通アクセスが、橋とトンネルしかなく、渋滞問題や下水処理の問題、軟弱地盤など多くの問題がありながら、IR・カジノのために、万博が開催されようとしています。みんなで反対の声を挙げてがんばりましょう。

（書記次長 関谷 和人）

トラック懇話会・近畿のHP公開！

ホームページ公開のお知らせ

トラック産業の将来を考える懇話会・近畿



トラック産業は厳しい経営環境を強いられている中、時間外労働の上限規制や改正改善基準告示が適用され、何も対策をとらなければ中小企業は生き残れません。

トラック懇話会は、今後も直面している諸課題を克服するために国土交通省や近畿運輸局など、行政交渉の取り組みやトラック産業を担う有権者をお呼びして講演会など開催していきたいと思ひます。この度、懇話会のホームページを公開しました。ホームページのコンテンツの充実に努め、様々な情報を皆様に発信して参ります。

■公開URL: <https://konwakai-kinki.org/>